

令和 6 年(2024年)度 評価・反省

- ◎ 保育力強化
職員間での情報共有(毎日の昼ミーティング等)を密に行う事ができ、スムーズに対応出来ました。担任であっても他クラスへ入る機会は増やしていきたいと思っています。
- ◎ SDGS の取り組み
「明るく・楽しく・元気に」を日頃より心がけ、保育を行う事ができています。
職員同士の感謝やねぎらいを言葉で直接伝えている事が多く、お互いに労わる言葉が聞かれ、職員全体の士気はあがっています。
文字であらわす「ホメールカード」の活用は、できていませんでした。
- ◎ 安心安全な環境づくり
一人ひとりの主体性を受け止めながら安心して過ごせるよう一日の活動を視覚化したり、声かけを工夫し、それぞれのお子さんにあう援助を意識した活動(保育)ができました。
子どもの発達に合わせ、子ども主体となる活動を意識して保育を行いました。
一部の保育士の伝え方が、怖いと感じる場面があったという意見もありましたので、声の大きさも含め猛省していきます。
- ◎ 今年度もヒヤリハットがたくさんあがり、おかげ様で大きなけがや事故はありませんでした。
- ◎ 地域とのかかわり
春のおださがまつりでは、園児の絵を提供し公園に華を添えました。
秋は東林地区の第37回ふくしまつりおゆずり会(バザー)では保護者の皆様からのご提供もあり、大盛況でした。
- ◎ 相模原市の指導監査では、口頭・文書指摘はありませんでした。
2025年度(令和7年度)は、第三者評価を受審する予定です。

今年度の評価・反省を生かし次年度につなげていきたいと思っています。